

令和6年度生きもの調査指導者養成全国研修会（in 兵庫）の開催報告

令和6年10月7日（月）～8日（火）、兵庫県加東市及び小野市において県土地改良事業団体連合会・府県・市職員、多面的機能支払活交付金の活動組織、地域おこし協力隊の方など、総勢20名参加の下「令和6年度生きもの調査指導者養成全国研修会（in 兵庫）」を開催しました。

1日目は、センター職員から生きもの調査の目的と意義、調査方法等を説明した後、（株）地球工作所の斉藤代表から「調査の流れ」、「生きものの識別・同定」の講義と兵庫県東播土地改良区の岸本様から土地改良区の活動を紹介していただきました。研修生から、生きもの調査を行う際の専門家の招聘方法、改良区が広報活動を行う際の留意点等について質問がだされ、講師から解説していただきました。

2日目は、小野市曾根町の鎌谷池で、定置網やカゴ網、投網の使い方について講師から解説していただき、前日に設置した定置網を回収したところ大きなギンブナ2匹が捕獲され地元の方も驚いていました。その後、ため池下流の農業用水路で研修生自身がタモ網を用いて生きものを採捕し、講師から生態や識別方法の解説をしていただきました。

受講生からは、「忘れかけたことを思い直すことができてよかった。」、「すごく充実した内容なので多くの技術職員に参加してもらいたい。」といった意見もいただくなど、「生きもの調査」について学ぶ貴重な研修会となりました。

研修開催に当たり、兵庫県東播土地改良区に会議室の提供や現地実習場所の調整をいただいたほか、曾根町の役員の皆さまには、研修生の休憩場所として公民館の提供や鎌谷池の水管理など多大なご協力をいただきました。改めて御礼を申し上げます。



撮影場所：兵庫県小野市

撮影日：令和6年10月8日（火）



室内講義



研修生からの質問



現地実習（投網の使い方）



現地実習（定置網の回収）



定置網で採捕したギンブナ



研修生によるたも網での採捕



カエルの持ち方



採捕した生きものの識別